

神戸医療センター 病診連携だより

編集・発行：独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター

〒654-0155 兵庫県神戸市須磨区西落合3丁目1-1 TEL 078-791-0111

院長就任のご挨拶

院長 森田瑞穂



前任の島田先生の後を受けまして、本年4月より、神戸医療センター院長を拝命しました森田瑞穂でございます。小科（放射線科）の私が、病院の重責を担うのは、ひとえに、10年前に地域医療連携を担当して以来の近隣の先生方からのご支援のたまものと、今後も、いっそうのご恩返しを心に期しているところでございます。

さて、最近読んだ本で、「ユダヤ人大富豪の教え」という幸せにお金持ちになる秘訣を説く本があり、筆者は、「私は、仮に無一文になっても、また、すぐにセールスで、再び大金持ち

になれる」と豪語しており、その秘訣は「リピーター」なんだそうで、10人に良いものを売れば、そのひとりひとりがさらに10人を連れてくると！でも、その反対の危険も、彼は、説いています。つまり、1個でも悪いものが混じっていれば、たちどころに、いままで積み重ねた信用はゼロに。

これは、我々の病診連携・病病連携でも、まったく同じことが言えます。

当初、お高い病院というイメージからスタートし、しだいに「意外に使い勝手のいい病院」とご理解いただき、最近では、「志は高く、敷居は低い病院」と「困った時の、神戸医療センター」と地域の先生方との信頼関係を徐々に、広げに繋げさせていただいております。一度、信頼をいただくと、あたかも刎頭の交わりのごとくで、少々の行き違いも顔をみれば、思いが通ずる方が増え、今後も、地域医療運命共同体を目指す所存であります。

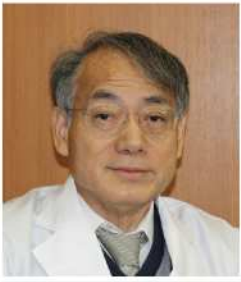
さて、和倉温泉におもてなしの心で有名な加賀屋がありプロが選ぶ日本のホテル・旅館で35年連続総合日本一なんだそうで、本館は「高そう～」と尻込みして未体験ですが、金沢駅前グルメ街の加賀屋直営食事処に立ち寄った際の、「ミニ加賀屋体験」は、さすがと言わざるを得ず、まさに給仕からレジ係まで、ピンと引き締まった気配り・心配りで、このプライドは、どこから来るのかと。グルメ街がこれなら本館は言わずもがなで・・・我々の神戸医療センターで、この気配り・心配りの一本の線が、来院前・来院中（外来も入院も）・退院後に繋がったなら、紹介・検査治療・逆紹介のながれの中に、脈打ったならどんなにか素晴らしいことでしょう。女将による薫陶や心得が、社員の間にも連綿と受け継がれてきたように、「すべての人の立場にたった医療の提供」という、単純でしかし高邁な理念が、病院のすべての職員のあたりまえになるよう努力する所存であります。



いつもお引き立ていただき誠にありがとうございます

お世話になりました

名誉院長 島田 悦司



平成14年6月に旧国立神戸病院に外科医長として赴任、以来約13年にわたり勤務させていただきました。その間、平成16年4月に国立病院から独立行政法人国立病院機構となり、病院名も「神戸医療センター」と改めて再出発となりました。しかし未だに地域の方々や、先生方には「国立神戸」のイメージが強いようで、情報発信不足かなと少し残念に思っています。

「国立病院」時代にも「地域医療連携」の重要性については十分認識され、それなりの活動もされてはいましたが、院内組織としては「神戸医療センター」に体制変更となると同時に、「地域医療連携室」が正式に発足しました。その後10年かけても、未だに満足できる状況にありません。近隣の病院に比べると、体制的にはまだまだ見劣りがします。その原因のほとんどが「定数枠」が壁となって、十分な人員確保と、継続的な人材育成ができていない点にあることは間違いありません。そんな制約の中で地域連携室の職員は皆目いっぱいがんばってくれてはいるのですが、先生方にはまだまだ御不自由をおかけしており、申し訳なく思っております。

幸い4月からは、「非公務員化」という新制度のもとで、今までの実績が認められ、人員もある程度拡充できることになっております。今後はこの「連携だより」の充実も含め、地域への情報発信に力を今以上に注いでまいります。新院長はその道の達人でありますから、期待に十分応えてくれるものと思います。今後もより一層のご支援をお願い申し上げます。



「腹腔鏡手術の魅力」 The greater the surgeon, the smaller the incision?

消化器外科医長 松田 武



2013年4月に当院に赴任して以来、積極的に腹腔鏡手術を導入し実施して参りました。胃癌・大腸癌などの悪性疾患だけでなく、急性虫垂炎や腸閉塞などの急性・良性疾患にも可能な限り、腹腔鏡手術で治療しております。

研究会や講演会などで発表の機会を頂くたび、当科における腹腔鏡手術の現状などにつき報告して参りましたが、今回は単純に「腹腔鏡手術のどこが魅力的か?」について紹介させていただきたいと思います。

まず何よりも、「傷が小さく、痛みも少ない」。たかがキズだろうと思われる方も多いと思いますが、傷が小さいことで術後も動きやすく、腸閉塞になるリスクも軽減されます。結果的に入院期間も短縮されます。昔の手術などで、お腹に大きな傷跡がある患者様を見ると、少し気の毒に思ってしまう。昔の格言に「The greater the surgeon, the bigger the incision」という言葉がありますが、今は「The greater the surgeon, the smaller the incision」といったところでしょうか。

次に、「精緻な手術ができます」。ハイビジョンカメラで体の組織に近接して見ますので、とにかくよく見えます。これまでの開腹手術のセンチメートル単位の手術からミリメートル単位の手術に変わったといってもよいでしょう。細い血管やリンパ管などもよく見えるため、細やかな手術が可能となり、結果的に出血量や合併症が少なくなります。

最後は、「皆で術野を共有できます」。私が研修医の頃は、上司の手術などは遠くからしか見ることができず、本や写真などが頼りでした。骨盤内操作に至っては、術者でさえブラインド操作で手術を行うしかなく、指先の感覚を教えてもらうという、非常にあやふやなものでした。しかし、腹腔鏡の登場により、骨盤内の奥深くの解剖も皆で画面を見て共有することができるようになりました。これは非常に大切なことで、手術の進行具合なども、スタッフ全員で確認できます。お腹を一旦閉めてしまえば、どういった手術がなされたのか誰にもわかりませんが、モニターでリアルタイムに手術を確認できることで、安心安全な手術がなされたかということが分かります。なんでもそうですが、透明性が高いことは非常に重要な要素だと思います。

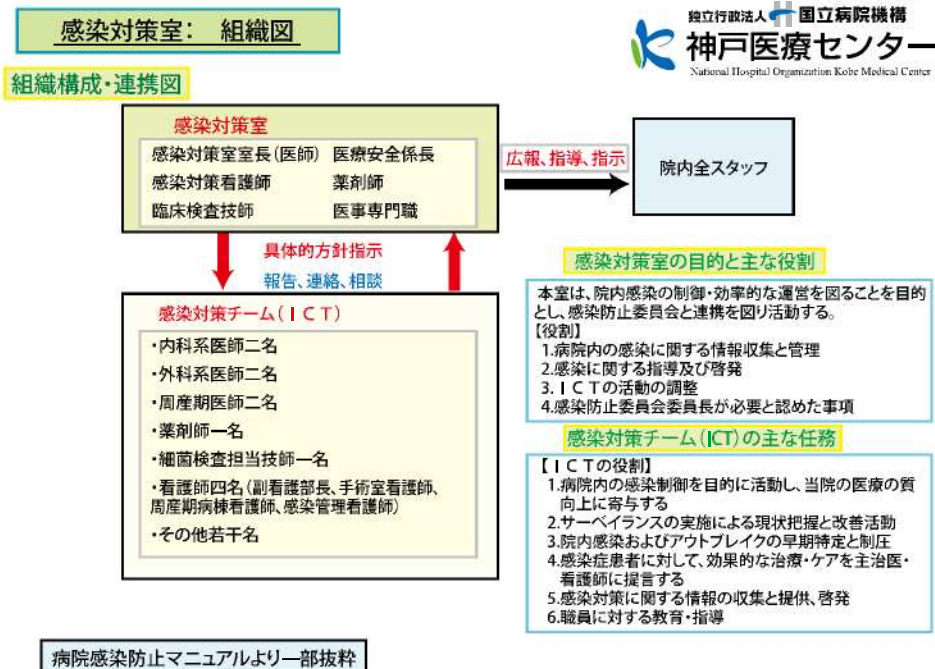
このように非常に魅力的な腹腔鏡手術ですが、患者さんの状態によっては開腹手術が勧められる場合もあります。大切な患者さん一人一人に最善の治療を提供できるよう、心がけております。今後ともよろしく願い申し上げます。

リレー記事
部門紹介 No.2

感染対策室

当院では、平成17年10月に感染防止委員会が設置され、平成18年4月から感染対策室が開設、室員が選任され活動を行っています。感染対策室は、感染対策室と感染対策チーム：Infection Control Team（以下ICT）からなる部門です。主に実働部隊として活動するICTと首脳陣としての感染対策室に役割が分かれています。ICTでは、毎週火曜日に、MRSAやESBLなどの耐性菌が検出された患者や、院内で届出が必要となっている抗菌薬の使用状況を確認するため、院内ラウン

ドを行っています。他にも、アウトブレイクが疑われる事例への対応や、新たに発生する感染症などに対する対応の検討、手順の作成などを目的として、毎月1回、感染対策室と感染対策チーム（ICT）で合同会議を行い情報の共有化を図り、必要に応じて、感染防止委員会で提案を行っています。



外来診療担当医表

診療受付時間 8:30~11:00

(平成27年4月1日現在)

		月	火	水	木	金	備 考
内科	一診(初診)	[内科] 清水 一也	[消化器科] 末廣 逸夫	[内科] 三輪 陽一	[消化器科] 宮崎 博之	[循環器科] 清水 雅俊	
	二診(再診)	[循環器科] 衣笠 弁雄	[内科] 高峰 佐智子	[消化器科] 中山 文仁	[内科] 高峰 佐智子	[消化器科] 田坂 勝規	
	三診(再診)	[内科] 福地 貴彦	[消化器科] 谷岡 洋明	[循環器科] 清水 雅俊	[消化器科] 三田 正樹	[循環器科] 岡田 武哲	
	四診(予約)	[消化器科] 三田 正樹	[消化器科] 宮崎 博之	[循環器科] 岡田 武哲	[循環器科] 衣笠 弁雄	[消化器科] 末廣 逸夫	
	五診(予約)	[消化器科] 末廣 逸夫	[消化器科] 酒井 太門	[内科] 清水 一也	[内科] 三輪 陽一	[消化器科] 宮崎 博之	
	六診(予約)	[呼吸器科] 八幡 知之	[呼吸器科] 土屋 真昭	[呼吸器科] 八幡 知之	[呼吸器科] 土屋 真昭	[呼吸器科] 原 夏美	
	七診(予約)	[消化器科] 中山 文仁	[内科] 三輪 陽一	[消化器科] 第2,4週: 養来 英俊	[循環器科] 伊藤 泰子	[消化器科] 第1,3,5週: 坂口 博哉 [循環器科] 第2,4週: 岡井 淳	
	予 約 診			[神経内科] (午後診) 上中 健		[消化器科] 谷岡 洋明	神経内科は予約制
心臓内科・精神科		休診	休診	竹内 克史	毛利 健太郎	休診	予約制(継続の方のみ)
心臓内科 心理判定カウンセリング					伊藤 未青		
緩和ケア内科		山川 宣	山川 宣	山川 宣	山川 宣	山川 宣	完全予約制 (通院中の方のみ)
小児科	午前診	小林 明子	小林 明子	小林 明子	担当医	小林 明子	専門外来は午後から診察(予約制)
	午後診	心工コー	慢性疾患 小林	乳児健診	齋藤 小林		
消化器外科	一 診	石田 潤	岩崎 武	岩崎 武	前川 陽子	担当医	
	二 診		平田 健郎	津川 大介		松田 武	
	三 診		松田 武				
	四 診			杉田 裕			
乳 腺 外 科		前川 陽子 (原則予約・再診のみ)		前川 陽子	前川 陽子		神戸市乳がん検診は実施しておりません 月曜日は午前のみ
整形外科	一診(初診)	川北 晃平	乾 義弘	蔵川 拓外	堂垣 佳宏	鈴木 哲平	側弯症外来、骨粗しょう症外来の担当医は当日決定します 手術のため、担当医を変更することがあります。 水曜日は初診と予約(特診、側弯症外来)のみの受付です。 側弯症外来は午後4時からとなります。
	二診(再診)	鈴木 哲平	川北 晃平		乾 義弘	堂垣 佳宏	
	三診(再診)	蔵川 拓外					
	特診三診	宇野 耕吉		宇野 耕吉 (午後・予約のみ)	宇野 耕吉	宇野 耕吉	
	骨粗しょう症外来		担当医(予約制) (14:00-15:00)				
側弯症外来	側弯担当医	側弯担当医	側弯担当医	側弯担当医	側弯担当医		
形 成 外 科		休診	輪湖 雅彦	輪湖 雅彦	休診	輪湖 雅彦	
腫 瘍 外 科		高本 剛	休診(手術日)	高本 剛	高本 剛	高本 剛	水曜日は初診のみ
呼 吸 器 外 科		休診	休診	休診	法華 大助	休診	午後診のみ(予約制)
皮 膚 科		山本 篤志	内村 友佳	山本 篤志	休診	山本 篤志	
		内村 友佳	松野 尚子	内村 友佳		松野 尚子	
泌 尿 器 科		大岡 均至	休診(特殊検査)	大岡 均至	休診(手術日)	大岡 均至	
産科・婦人科	診察室1	武内 孝介 (予約)	武内 孝介 (予約) 山下 詩乃 (予約)	杉本 誠 (初診・再診)	武内 孝介 (初診・再診)	武内 孝介 (予約) 吉田 愛 (予約)	火曜日、金曜日の受付時間は10時半まで
	診察室2	辻野 太郎 (初診・再診)	辻野 太郎 (初診・再診)	辻野 太郎 (予約)	杉本 誠 (初診・再診)	杉本 誠 (初診・再診)	
	午後診			吉田 愛 (予約)	山下 詩乃 (予約)		
	産褥健診			担当医 (15:30-16:30)			
眼 科		藤岡 久美子	休診(手術日)	藤岡 久美子	中村 礼恵	藤岡 久美子	
巨乳いんこう科	午前診	黒田 浩之 (手術)	寛島 ゆり恵	休診(手術日)	黒田 浩之 (初診のみ10時半まで)	黒田 浩之 (予約)	
	午後診	寛島 ゆり恵 (初診・再診)	特殊検査		特殊検査	寛島 ゆり恵 (初診・再診)	
放 射 線 科		本山 新	本山 新	本山 新	本山 新	本山 新	毎日放射線治療の依頼を受け付けます
放射線治療		森田 吉多佳	森田 吉多佳	森田 吉多佳	森田 吉多佳	森田 吉多佳	完全予約制
IVR・化学療法		森田 吉多佳 (午前のみ)	森田 吉多佳	森田 吉多佳	森田 吉多佳	森田 吉多佳 (午前のみ)	完全予約制 月・金曜日は午前のみ診察
CT・MRI診断		森田 瑞穂	本山 新	本山 新	森田 瑞穂	本山 新	月～金曜日 随時受付
リハビリテーション科						川北 晃平	

独立行政法人 国立病院機構
神戸医療センター 地域医療連携室
 〒654-0155 神戸市須磨区西落合3-1-1
 TEL: 078-795-6584 (直通) FAX: 078-795-6591
<http://www.kobemc.go.jp>
 開室時間 月～金曜日 午前8時30分～午後7時00分 (祝日・年末年始を除く)

- 神戸市営地下鉄谷沢から徒歩15分
- 神戸市営バス「神戸医療センター前」すぐ
- 山陽バス「神戸医療センター下」徒歩3分

